

1 調査日 令和2年10月29日（木）

2 調査の概要

(1) 福井運動公園（福井県福井市）

福井県は、平成30年に第73回国民体育大会・第18回全国障害者スポーツ大会を開催した。大会の愛称を「福井しあわせ元気国体」「福井しあわせ元気大会」とし、幸福度日本一といわれる同県で、県民の元気と創意を結集して、しあわせを感じ、元気があふれる大会の開催を目指して取り組んだ。スローガンは、選手が持てる力と技と美しさを、同県が誇る織物のようにタテ糸とヨコ糸に織りなし、競技に全力を尽くせるよう、「織りなそう 力と技と美しさ」とした。

福井国体における同県の順位については、天皇杯、皇后杯共に総合優勝という結果を残している。

については、2025年に本県で開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の参考とするため、福井両大会の競技力向上、機運醸成、施設整備等に関する総括と、大会後の競技会場を活用したスポーツおよび地域の振興等について調査を行った。



(2) 福井運動公園福井県営体育館（福井県福井市）

福井県では、平成30年に同県で開催された全国障害者スポーツ大会の影響もあり、数多くの障害者スポーツ団体が熱心に活動を行っている。また、平成26年に設立されたしあわせ福井スポーツ協会は、地域に根差した障害者スポーツの普及、振興を図るため、その中心となって活動をすすめている。

については、2025年に本県で開催予定の全国障害者スポーツ大会の参考とするため、同県内の各団体や同協会に、障害者スポーツへの取組や福井障スポ大会に係る競技力向上等の取組、また同大会の施設整備や運営体制等に対する所感を聞き、調査を行った。

参加団体および協会

- ・ 福井楽障クラブ（視覚障害者マラソン）
- ・ 福井県障がい者バレーボール連盟（バレーボール）

- ・越前市障がいスポーツクラブ（フライングディスク・卓球等）
- ・しあわせ福井スポーツ協会

